

◆担い手育成事業

八重山漁協女性部活動支援

八重山支庁農林水産整備課 中村勇次

1. 目的

八重山地区は、他地区に比べさしみ屋が多く、昔から旦那さんが獲ってきた魚を奥さんが販売するという経営手法がとられてきた。八重山漁協女性部でも、そのようにさしみ屋を経営・あるいは勤務している部員が多数を占めている。女性部に関連したさしみ屋は約30店舗あり、それ以外のさしみ屋を含めると相当数になると思われる。女性部員は、このようなさしみ屋経営のかたわらで魚食普及活動を行っていることから手が行き届かないことも多い。そこで可能な限り女性部活動を支援していくことにした。

2. 材料及び方法

漁協女性部は、年間を通して各種イベントでの出店や小中学校の体験漁業と連携した魚食普及活動などを行っている。出店、魚食普及を行う際には、事前に集まり内容・役割分担を決定してから取り組んでいる。この事前調整での助言やイベントへ参加しての手伝い等を行った。

3. 結果及び考察

モズクの日に関連した活動として、4月13日に行われた石垣島トライアスロンにおいて、モズクを中心とした料理（モズク天ぷら、モズク雑炊、モズク酢の物、乾燥モズクなど）を販売した。天候不良だったためか肌寒く、特にモズク雑炊の売れ行きが好調だった。

7月14日に白保で行われた赤土流出防止対策活動に女性部会長が参加した。畑周辺にゲットウ1,400本及びペチュベル800本を植栽した。

10月11日に開催されたお魚まつりへ出店参加した。出店では、魚天ぷら・モズク天ぷら・まぐろそば・魚汁・おにぎりの販売を行っ

た。天ぷらは特に人気で、行列ができるほどの盛況ぶりであった。

2月22日に石垣第二中学校20名を対象に行われた漁業体験学習で調理体験実習を担当した。定置網体験を終了した生徒に魚の解体や調理の実習を行い、魚の煮付け・魚のバター焼き・寿司・魚のみそ汁を作って試食した。

3月7日に開催されたお魚まつりへ出展参加した。出店では、イカスミそば・イカスミ汁・まぐろそば・モズク天ぷら・アバサーの唐揚げを販売した。魚の無料配布やもずくつかみ取り等も行っており、大勢の人出で賑わった。

3月15日に大浜小学校5年生を対象とした魚食普及体験学習を行った。魚食普及体験学習後は、同日に開催された海辺の環境教育フォーラムでの出店を行った。魚食普及体験学習では、生徒と一緒に魚の解体・調理を行い、シイラの照り焼き・アーサ汁・おにぎりを作って試食を行った。後日、大浜小学校から体験学習の感想文が届けられた。

4. 今後の課題

以前からの懸案事項であるが、女性部員が活動に対して受動的である。各女性部員がそれぞれさしみ屋に勤めていることも原因の1つではあるが、現在は離島再生支援事業により活動回数が増えたことにより部員への負担が増加している。その傾向は、役員（三役）に特に偏っていることから、継続した活動を行うために、活動回数の削減や負担を部員に割り振ることが必要になってくる。これらのことが原因で次回の役員改選が懸念されていることから、前述の課題を早急に解決する必要がある。



① 4月13日の石垣島トライアスロン交流パーティーでの出店の様子



④ 3月7日に開催されたお魚まつりの様子



② 7月14日に女性部長が参加した赤土流出防止対策活動



⑤ 3月15日に実施した魚食普及体験学習の様子



③ 2月22日に実施した体験漁業での調理体験実習の様子